

○ 訓練コース例

住居環境科

(コース概要／習得内容)

「ものづくり」の原点である創造的な設計能力と施工能力に重点を置き、

- ①建築物の計画設計に関する知識、
 - ②建築CADによる設計・製図、
 - ③構造解析、構造材料の特性に関する知識、
 - ④測量及び施工技術、
 - ⑤工事管理や積算方法
- 等を習得。

環境と調和した建築空間を創造する技術を持った実践技能者を養成。

(就職先)

建築業務、インテリア業務及び生産分野での管理・運用業務等に就職。

訓練風景

建築材料強度試験



材料特性を理解するための強度試験実習

建築設計実習(CAD実習)



建築CADによる設計と併せてCGアニメーションによる表現技法実習

建築施工実習



設計をする上で必要な木造、コンクリート造の施行実習

Ⅲ-(3) 学卒者訓練 応用課程 (専門課程修了者等を対象にした2年間の訓練)

○ 訓練コース例

生産機械システム技術科

(コース概要／習得内容)

機械技術を中心に、エレクトロニクス、情報技術等を融合し、①CADによる図面作成、精密加工、組立、評価、②PLCを活用した制御技術、③CAEを活用した各種シミュレーション技術等を習得。課題実習とグループ学習方式により、問題解決力、応用力、協調性を持った人材を育成。

(就職先)

機械メーカー、精密加工メーカー、部品メーカー、メカトロニクス企業等に将来の生産現場のリーダー・管理者として就職。

訓練風景

①企画・開発



②設計



③ワーキンググループによるミーティング



④製作



開発課題

現場における製品、工程、管理などに関する課題を企業から題材として取り入れ、企画から製作に至る一連の工程・作業を体得する「課題実習方式」を実施。また、現場での工程・作業は複数の職種・分野にまたがることから、複数の訓練科による「ワーキンググループ方式」を実施。実際の企業における製品開発をイメージしたカリキュラムにより、新しいものを創り出す能力を培う。

(例)長ナス自動皮むき装置(来年度より漬物工場生産ラインにて活用予定)

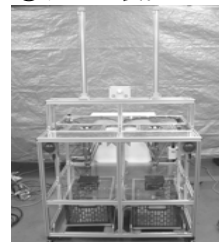
①ヘタ・果尻切断装置



通過後のナス



②皮むき装置



通過後のナス



☆上記(例)のように、開発した製品のうち、実際に企業の生産ラインに活用されたり、製品化された事例が多数。